

おとへ

おと、君が4歳のお誕生日を迎える前に君が旅立ってしまった、おとうちゃんはとっても寂しいです。悪性リンパ腫というのがわかってからも、4歳のお誕生日はなんとか迎えることは出来るだろうと思っていたので、出来れば一緒に新しい年を迎えたかった。

おとの悪性リンパ腫は信じられないくらい進行が早くて、主治医もおとうちゃんもなんにも出来なかった。病理検査の結果で悪性リンパ腫とわかった時に治療はステロイドだけでと決めたけど、あの時もしも副作用が酷くても抗がん剤を使えばもう少し長く一緒にいられたかもしれない。でも、これほど悪性リンパ腫の転移が早いと恐らく抗がん剤でも同じ結果だったと思う。だから、おとうちゃんはステロイドだけの治療にしたことは後悔しないことにしました。おとに少しでも負担がかからない方法で治療したかったのです。どうかわかってくださいね。

おとと出会ったのは、熱帯倶楽部で店員のお姉さんが「この子を是非シナモンズに絶対に入れてください」って猛プッシュされたことがきっかけでした。おとうちゃん的にはNZ系の子には全く興味はなかったけど、雪のように白くて小さなシナモンの男の子が可愛くて断れなかった。でも、おとをお迎えして本当に良かったよ。

お迎えした後は、パステルシナモンという珍しい色ととっても可愛い顔であつという間にみんなを虜にしてみましたね。お迎えしたばかりのころはとっても小さかったのに数ヶ月後にはNZ系らしく大きくなりました。大きくなってもちろん人気者でした。

おとといえば、寝相といい、遊ぶ時といい、とにかく何事も豪快でしたね。たけと権力争いしたり、らんやもとをいじめたりと、シナモンズは本当に10本同居は出来るのかと思ったけど、なんとか同居できたから良かったよ。みんなと賑やかに過ごせてよかったね。おとぼけよくポーズを決めてくれたから、おとうちゃんはおとの写真を撮るのがとっても楽しくて、つついとおとぼけポーズしているところを撮っちゃいました。

おとは見知らぬうちの子やゆうを助ける為に供血してくれたね。本当にありがとう。おとには辛い思いを2回もさせてしまいました。本当にごめんなさい。おとのおかげでシナモンズはいざという時はおとがいるから大丈夫だって安心できた。ゆうと最後の4日間を一緒に暮せたのはおとのおかげです。本当にありがとう。

おとが呼吸困難に陥ってから1回だけ添い寝をしました。でも、ご飯もお水も満腹に食べられない状況で添い寝をするのはよくないと思ったし、頑張って給水ボトルからお水を飲んでいたので、おとうちゃんは添い寝をするのは我慢しました。本当はゆうの時のように最後は添い寝をしてあげたかったよ。だから、最後の日は仕事が終わったらその晩はずっとおとに添い寝してあげるつもりだった。でも、おとはおとうちゃんの帰宅よりもひと足先に旅立ってしまったね。間に合わなくてごめんね。

おと、悪性リンパ腫になってからはずいぶん辛かったと思うけど、これからはゆうとたけと一緒に元気で仲良く旅をしてください。そして、シナモンズを暖かく見守っていてください。今まで一緒に暮してくれて、本当にありがとう。

2006年09月18日 シナモンズのおとうちゃんより